

サム・アルトマンの「2026年末AGI」発言：主観的宣言と客観的指標の乖離

2026年8月、サム・アルトマンは「年末までに自身がAGIと呼ぶ内部システムを持つ」と発言。しかし、これは法的な「AGI宣言」ではなく、彼の主観に基づく限定的な表現であり、技術的指標や市場の予測とは大きな隔たりがあります。

アルトマン発言の真意：主観的な「内部呼称」



定義権の掌握による責任回避

客観的な検証を避け、独自の定義で到達を宣言する構図になっています。



経済的代替性を重視したOpenAI定義

技術的汎用性よりも、経済的価値のある仕事の遂行能力を基準としています。

評価主体: サム・アルトマン

指標・予測: 2026年末の達成

評価の結果: 個人的・主観的な「AGI」呼称

客観的な現実：市場の懐疑論と技術的ギャップ



予測市場の達成確率はわずか13%



依然として残る「未知の推論」への壁
新規状況での推論能力を測るARC-AGI-3は、依然として壊滅的な低スコアです。

評価主体: 予測市場 (Polymarket)

指標・予測: 2027年までの達成率

***13%**
(極めて低い信頼度)

評価主体: ARC-AGI-3 (推論試験)

指標・予測: フロンティアモデルのスコア

0~0.37%
(人間は100%)